

(令和8年9月4日開催)

愛知・名古屋2026大会に係る交通マネジメント検討会 第1回 開催結果

1. 愛知・名古屋2026大会について (p4～7)

- 第20回アジア競技大会が9月19日(土)から10月4日(日)の期間に開催予定で、競技会場は愛知県を中心に1都1府3県の計54会場に分散しており、約15,000人を超える選手団を競技会場まで大型バスで輸送する計画。
- 第5回アジアパラ競技大会が10月18日(日)から10月24日(土)まで開催予定で、競技会場は愛知県内を中心に一部静岡県内の計19会場に分散しており、約4,000人の選手団を競技会場まで大型バスで輸送する計画。
- 競技会場までの選手団等の関係者輸送ルートは、高速道路を中心に設定するが、交通事故等の異常時の対応として、主要な幹線道路を代替ルートとして設定。

2. 交通マネジメントの取り組み方針 (p8～24)

- 競技大会が秋のシルバーウィークに開催されることや、輸送ルートの一部に交通渋滞が懸念される区間が含まれることから、交通総量の抑制により大会関係者の円滑な輸送と経済活動の両立を図るため、交通需要マネジメント(以下、「TDM」という。)の取り組みが必要。

- TDM の実施により、愛知・名古屋 2026 大会に貢献するため、本取り組みを「愛知・名古屋2026大会TDM推進プロジェクト」と称し、交通量増加が想定される大会期間中においても、通常時と同等の交通量に抑えることを目安とする。
- 競技会場周辺や大会関係者輸送の主要道路は、交通総量抑制を重点的に働きかける「重点地区」及び「重点道路」と設定、大会関係者輸送への影響が懸念されるエリア及びルートは、その他交通混雑の緩和の推進を働きかける「TDM 推進エリア・ルート」として設定し見える化する。

3. 道路利用者等への広報の取り組み（p25～44）

- TDM の広報は、ホームページ、SNS 等により関係機関が連携して実施し、選手団輸送の主要ルートとなる高速道路においては、SA・PA のデジタルサイネージ、横断幕、ポスター掲示等により強化。
- 高速道路においては、特に交通集中が懸念されるシルバーウィーク期間の渋滞予測を情報発信すると共に、交通事故対策として、安全利用のための啓発活動を推進。
- 一般道路においては、道路情報板や交通情報提供装置において、最新の道路情報を提供すると共に、行動変容の参考となるよう、平常時の混雑状況をとりまとめて情報発信する。
- タクシー、バス、トラック協会等の道路利用者団体に対しては、チラシ等により個別に周知。
- 地域の皆様に対して広くPRできるよう、運転免許試験場や公共交通機関等へ広報の協力を依頼。

○市街地部は通学路等の安全のため、混雑を避けた生活道路への進入(抜け道利用等)を控える旨を周知。

4. 関係者輸送ルートにおける路上工事の抑制 (p45)

○主要な幹線道路の道路管理者は、輸送ルートにおける車線規制を伴う路上工事について、各大会の開催期間中は、緊急工事を除き午前5時から午後10時の間を抑制すると共に、道路占用者に対しても、同様の対応を求める。

5. 地域の皆様のご理解・ご協力を得るための取り組み(p46～47)

○各種団体、企業及び地域の皆様にご理解・ご協力をいただくため、大会期間中の交通混雑緩和の取り組みに有効な情報について、SNSや広報チラシ等を活用して広く情報発信する。

○関係機関が連携し、報道関係者を対象とした説明会の開催により、TDM の取り組みの周知や地域の皆様に協力を呼びかけると共に、報道関係者の皆様に対しては、交通混雑緩和に関する報道への協力を呼びかける。

※交通需要マネジメント(TDM)とは、道路利用者の時間の変更、経路の変更、手段の変更、自動車の効率的利用等により交通行動の変更を促すことで、交通需要量を調整し道路交通混雑を緩和する手法。TDM(Transportation Demand Management)の略称。

※第2回検討会の開催については、愛知・名古屋2026大会における関係者輸送や交通状況等を踏まえて、別途お知らせします。